

糖代謝異常妊産褥婦への看護支援セミナー(最終版)

周産期・育児期に糖代謝異常状態にある妊産褥婦が増加しています。調査結果から、糖尿病看護認定看護師や糖尿病療養士は妊婦が苦手、逆に助産師は糖代謝異常が苦手と報告されており、適切な支援が届いていない可能性があります。妊娠糖尿病既往女性のその後の2型糖尿病(DM)発症率は正常の女性の7.43倍であり、出産年代の高齢化から、妊娠・出産前後に2型DMを発症する可能性は高いといえます。一方で、長期間の母乳育児は、児の将来の肥満を予防し、生活習慣病を予防すると同時に、女性自身の糖代謝も改善し、将来のDM発症を予防するとわかってきています。周産期・育児期に糖代謝異常のリスクに対して適切に支援することは、女性の一生の健康を支援するものとなります。

2日間の受講で、周産期・育児期を専門とする看護職が、この時期の糖代謝異常に関わる科学的に正しい情報を獲得し、適切に支援できることを目指しています。また、**CLoCMiP®レベルⅢ認証申請に利用可能な研修として開催します**。これまで、大阪、東京、岡山それぞれで年1回開催し、今年度は仙台開催です。特に東北地方在住の方のご参加お待ちしております。

【対象者】テーマに関心を持つ看護職(助産師、看護師、保健師)及び栄養士等の医療職

【場 所】東北大学大学院医学系研究科保健学科A棟 大講義室

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/seiryō/>

【参加費】10,000円(会員)、20,000円(非会員)

*2日間受講された方に、日本母性看護学会の受講証明書を発行します。

【定 員】60名程度(参加費事前入金の事前登録のみ、当日欠席の場合、参加費は返却しません
が、セミナーテキストは後日送付させていただきます。)

【申込方法】オンライン受付のため、下記のURLよりログインして登録ください。

オンライン参加登録システム:

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/apply/JSMN>

【応募期間】2019年11月18日登録開始。2020年1月15日まで(HPで確認ください)。

1月25日(土):1日目		1月26日(日):2日目	
9:55	オリエンテーション	10:00~ 12:00	糖代謝異常妊産褥婦への看護支援の 基本 講師:成田 伸
10:00~ 12:00	糖尿病と妊娠期の糖代謝状態の 基礎知識 講師:成田 伸	13:00~ 14:30	糖代謝異常妊産褥婦への看護支援の 実際①(妊婦と産婦) 講師:高橋 久子
13:00~ 14:30	周産期の糖代謝異常の診断と治療 講師:安日 一郎	14:40~ 16:00	糖代謝異常妊産褥婦への看護支援の 実際②(褥婦と新生児) 講師:高橋 久子
14:45~ 16:15	糖尿病の血糖コントロールと食事・運動 講師:成田 伸	16:05~ 16:50	ディスカッション ファシリテーター
16:20~ 17:00	ディスカッション ファシリテーター	16:50~	まとめ

*「周産期の糖代謝異常の診断と治療」(90分)は、助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ認証申請に活用可能な研修(必須研修:⑥フィジカルアセスメント:代謝)です。この時間のみの受講も可能ですが、全日程の参加をお勧めします。詳細はHPで確認ください。

*1日目の昼食時間と午後の休憩の時間を使って、食前・食後の自己血糖測定、HbA1c測定が体験できます。

【講 師】安日 一郎(長崎医療センター産婦人科医)

高橋 久子(前杏林大学医学部付属病院助産師、糖尿病看護認定看護師)

成田 伸(自治医科大学看護学部 教授、母性看護学・助産学、日本母性看護学会理事)

【ファシリテーター】日本母性看護学会生涯学習支援委員会GDMセミナー部会委員

佐藤ひさ代(自治医科大学附属病院母性看護CNS)、千葉貴子(愛染橋病院母性看護CNS)、

森重佳子(市立吹田市民病院母性看護CNS)他